

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年2月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690300175
法人名	医療法人 昌成会
事業所名	グループホーム 詩音
所在地	鹿児島県鹿屋市古前城町9番43号 (電話) 0994-44-2255
自己評価作成日	平成23年1月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

1階の入所者様方は介護度高く、身体介護の方々に重度認知症の方が入所しておられる為、入所者様一人ひとりが笑顔で過ごして頂ける様に努めている。

職員・入所者共に、家族として安心して暮らしていけるよう、寄り添いコミュニケーションを多くし、丁寧な介護を心がけている。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年2月15日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点 (評価機関記入)】

施設内の環境に気を使い、壁には利用者とスタッフが一緒になり作成した物などが楽しく飾ってある。

家族や友人が気軽に訪問できるように玄関を解放している。

全職員は、声かけや誘導に日々努力し、ミーティングなどを通じケアの質向上に努めている。

地域への行事参加や学生などの職場体験学習、地域のボランティア訪問でのレクリエーションなどを活用して、利用者を楽しませている。

食事の材料を一緒に買い物に行ったり、一緒に作ったり後片付けをしたり、個別にできることへの支援もしている。

入浴も個別に希望を聞き対応している。

災害時の対応について、消防など火災に対しての訓練がされている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設の目の付く位置、数ヶ所に理念を置き、常に確認・実践に心がけている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた独自の理念を掲げ、職員が常に確認し合っている。また、職員会議で、理念を支援につなげるための勉強をしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事等に参加。日常的ではない。参加出来る入所者が少ない。防災活動等、参加頂いている。	地域とのつながりがあり、回覧板が届けられたり、七夕祭りなどの地域の行事に参加している。また、中学生の職場体験学習やボランティアの受け入れもしている。防災活動の協力体制が地域と整いつつある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	町内会に加入し、行事等の参加も入所者と共に行っている。ボランティアの方々によるマジックや踊り・中学生の職場体験を受け入れている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的を開催し、事業所の現況報告等を行い、助言や意見をサービスに活かせるように取り組んでいる。	運営推進会議は定期的で開催されており、利用者の状況報告等を行ったり、利用者の家族などからは活発な意見が出て、それらの要望等に対応し、サービスの向上に活かすよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>事務手続きについて、不明な点を電話で確認したり、対応が難しい例を相談している。市担当の方と直接話し合う事もある。</p>	<p>市担当者は運営推進会議や職員の勉強会に参加している。利用者に関する相談などで市担当者の窓口に出向いたり、電話で相談するなど連携を密にしている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>正しく理解・具体的な行為が実施できる様研修に参加し、指導を行っている。当建物が町の中心地に有り、建物・玄関前が道路である為、安全の為にタッチセンサー付きドア使用。</p>	<p>身体拘束廃止の研修会等や話し合いで全職員は正しく理解している。日中の玄関の施錠はしていない。連携を取り合い見守りで自由な暮らしの支援をしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>学ぶ機会を持つ為、高齢者虐待防止の研修に職員参加している。虐待が見過ごされる事の無い様、注意を払っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>利用者様の権利について、貼り紙をしているが、職員が変わり新たに学ぶ機会を持ち、活用していける様努めていきたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の締結・解約等については、契約書・説明書を持ち、利用者や家族の疑問点を尋ねながら十分に説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>年2回家族会を実施。運営推進会議を定期的実施している。苦情受付箱の利用は少なく、面会時や電話等で家族の方より意見や苦情を話して下さる。</p>	<p>職員は面会時や家族会等で、意見や要望を聞き運営に反映している。相談や要望はノートに記録し、職員間で話し合い対応するようにしている。玄関に苦情要望の箱を設置している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月のミーティング時に職員からの意見や提案を聞き、日常は申し送り後に話し合い、伝える事は、連絡帳等を利用し、伝わる様になっている。</p>	<p>職員の意見や提案は、管理者を通じて施設長や代表者につなぎ対応している。そのことをユニットごとの連絡帳に記入して、職員は確認している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個々の努力や実績・勤務状況を把握できる様、実務表・タイムカード等で上げ職場環境等、運営会にて上げている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月、法人代表の医療を含めて勉強会をしている。法人内研修・テーマを決めた勉強会も職員が担当して行っている。外部研修は、職員に案内し参加。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大隅地区グループホーム連絡協議会に加入し、研修会などに参加している。他のホームとの交流を心がけ、見学等に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスの利用開始する段階で、本人の要望や不安なことなど十分に聞き、説明を行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の方の意見や要望など、十分に聞き、説明を行い、電話や手紙等で連絡をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアマネ・計画作成担当者・管理者を含め、支援を見極められる様、努力している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	意見や不安等、活せる様に心がけ、声かけ・見守り・気付きを実施できる様、努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族の絆を大切にす為、ホームへの面会や連絡がとだえない様に、毎月の手紙で状態等を写真を用いて行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・数名では有るが、近所の方や友人、教え子さん方の面会がある。 ・馴染みの店等に外出される。 ・把握できていない職員もいる。	病院や美容室など馴染みの店や墓参りに一緒に出かけたり、近所の方や友達などの来訪があり、馴染みの関係づくりの支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや行事、席替え等を行い、利用者様同士の間に入り、話したり声かけを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	情報提供を行い、家族・本人より連絡を頂くことが有る。契約終了後、入院など面接に行くことがある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いや意向を把握できる様努めているが、把握困難な方は、家族や関係者の方からの情報を基に検討している。	アセスメントで把握し、家族からの情報を得ながら、把握に努めている。思いや意向がうまく伝えられない利用者には、態度や表情をよく把握して職員間で話し合い、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報を基に把握に努めている。本人の話の中で聞き出せる様、会話できる様努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各入所者様の職員担当を決め、細かい現状の把握ができる様、他の職員に伝え、話し合える様努めている。日々の心身状態把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画に基付き、毎月モニタリングを行い、見直している。	利用者毎に担当職員を決めてその職員からの意見を参考に、皆で担当者会議をして計画を作成している。状態変化時はその都度見直しをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・記録の書き方等、少しずつでは有るが、指導されている。 ・記入、記録の時間等を短縮していきたいとの意見が多かった。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	要望に答えられる様、支援できるよう努力している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員と意見交換する機会を設けている。訪問理美容サービスを利用している。運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加している。地域の図書館を利用している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回のかかりつけ医の訪診、定期の検査、急病時の受診等、行っている。他の専門医、家族の希望に合わせ受診を行っている。	以前のかかりつけ医と調整しながら、当医療法人の各科で、適切な医療が受けられている。主治医により往診が行われ、通院支援もされ、週数回のリハビリテーションも実施されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常のバイタルチェックや状態把握に努め、かかりつけ医や看護師に伝え、相談し、受診等行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時、病院関係者との情報交換や相談に努めている。家族や利用者の不安や相談を聞き、説明を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族と話し合いを行い、十分な説明をしながら、方針を共有できる様、努めている。</p>	<p>終末期は医療で対応することとし、家族と十分話し合っている。重度化の場合はできるだけホームで支援することとして、本人や家族・職員も共有し支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時や事故発生時の救命講習など、受講している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害対策のマニュアルを作成し、定期的な防災訓練を実施している。地域住民の協力体制もある。</p>	<p>消防署指導のもと、消火・避難訓練を実施している。町内会長や民生委員の協力で訓練時に近隣住民も参加している。地震の訓練や災害時の備蓄はこれからである。</p>	<p>災害時の地震避難訓練や備蓄の確保することが期待される。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	1階は家族からの情報や日常のケアの中でいくつかの選択諮を示し、自己決定できるように努めている。	職員全員に、利用者の尊厳とプライバシーの保持を指導している。ことば使いを丁寧にし、トイレ誘導等さりげないケアを心がけ、トイレものれんで見えないように配慮して、誇りやプライバシーを損なわないように注意をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、本人からの希望や要望など、聞き取りを心がけ、本人の思いを聞き出せる様、自己決定して頂ける様に声かけを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝の挨拶、バイタルチェック等から、その日の体調や気分に合わせて、一人ひとりのペースに合わせて、要求や要望を支援できる様努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	月に1回の髪切り、髪染めや外出時の服選びなど、要望に合わせて支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の下ごしらえ、季節に合わせておやつ作り。献立等を決め、希望の有った物を取り入れている。	職員と一緒に、買い物や煮物の味見などの調理の手伝いをしたり、できる範囲で参加している。利用者で献立を決めたりして一緒に食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日、毎回、水分量や食事摂取の量のチェックを行い、一人ひとりのペースに合わせ、摂取できる様努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎日、毎食後の口腔ケア実施介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入所前、オムツ着用だった方も介助する。声かけ習慣、その方のペースに合わせ、支援する事で、リハビリパンツ使用、トイレ使用ができる様努めている。	排泄チェック表で各人の記録がされており、個別にタイミングを図り、自立支援につなげている。さりげないトイレ誘導を行い、オムツからリハビリパンツ使用への移行など、排泄の自立に向けた支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取できずらい方などに対して、他の飲み物（好味）食事の味付け等、工夫したり、嚥下困難な方など、トロミや小刻みで摂取できる様工夫。運動やマッサージを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は週3回実施し、冬場や体調不良時、訴え時等は更衣、清拭を行っている。一人ひとり、ゆっくり入って頂ける様、努めている。	それぞれの生活パターンに合わせて、希望通りの時間に入浴できるように、個別対応をしている。入浴を嫌がる方へも声かけのタイミングなどを考え支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その日の体調、生活習慣を把握し、一人ひとりに合わせ、昼寝や安眠できる様、努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの服用されている薬、説明書等を置き、職員全員が把握できる様に努め、特変時直ぐ気付ける様に努め、看護師や医師へ連絡。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	折り紙、編み物、団子作りなど、一人ひとりの楽しみやできる事を皆に教えて頂ける。洗濯物干しや取り入れなど、自立の促しを努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人ひとりの要望に対応できる様、努めているが、外出レク・外食レク等、季節や要望にあわせ行っている。	日常的にはホーム周辺の散歩や買い物の外出支援をしている。外食や季節の行楽も利用者優先で希望を聞き実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金と分かれる方、状態に合わせ、お金所持しておられる。買い物時、支払い等見守り行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	一人ひとりの要望に合わせて、電話できる様、対応している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	車椅子使用の方々が多く、入口を開けたままの使用。開閉困難な方の要望に合わせて、カーテン使用したり、日射しの強い窓などフィルムを貼り、出入りの多い玄関はカーテンを使用。	リビングなど季節に応じて、環境を調えている。車椅子使用の重度の利用者が多くなってきているが、トイレものれんでしきり見えないように気づかいや使いやすくして、プライバシーに注意している。換気や明るさにも配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりの方々に合わせ、共用空間の中で、利用者同士の語らいの場になる様、工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所時、使い慣れたものを持参頂き、又、買い物レク時、本人希望の物購入し、本人の意見を聞きながら工夫している。</p>	<p>利用時にできるだけ馴染みの物を持ってきてもらっている。また、入所後本人の希望で購入しているものなど、本人本位で居心地よく生活できるようにしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりのできる事をやる気になって頂ける様、きっかけ作りやわかる事に対しての意欲を出して頂ける様、努めているが難しい。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない